

第5章

女性の活躍促進・男女共同参画社会 づくりについて

1. 政策・方針決定への女性参画が望まれる役職

問16 政策・方針の決定にかかわる役職において、あなたは今後、どのような分野に女性がもっと増える方がよいと思いますか。(〇は3つまで)

▶ 「国会議員・都道府県議会議員・市町村議会議員」が最も多く 42.9%

政策・方針決定への女性参画が望まれる役職を尋ねたところ、「国会議員・都道府県議会議員・市町村議会議員」が 42.9%と最も多く、次いで「都道府県知事・市町村長」が 35.8%、「企業の経営者」が 23.7%であった。

性別にみると、男女ともに「国会議員・都道府県議会議員・市町村議会議員」(男性 49.8%、女性 38.3%) が最も多かった。男性では「国会議員・都道府県議会議員・市町村議会議員」「都道府県知事・市町村長」「町内会長・自治会長」が女性を上回っており、一方、女性では「裁判官・検察官・弁護士」「わからない」で男性の比率より高くなっている。

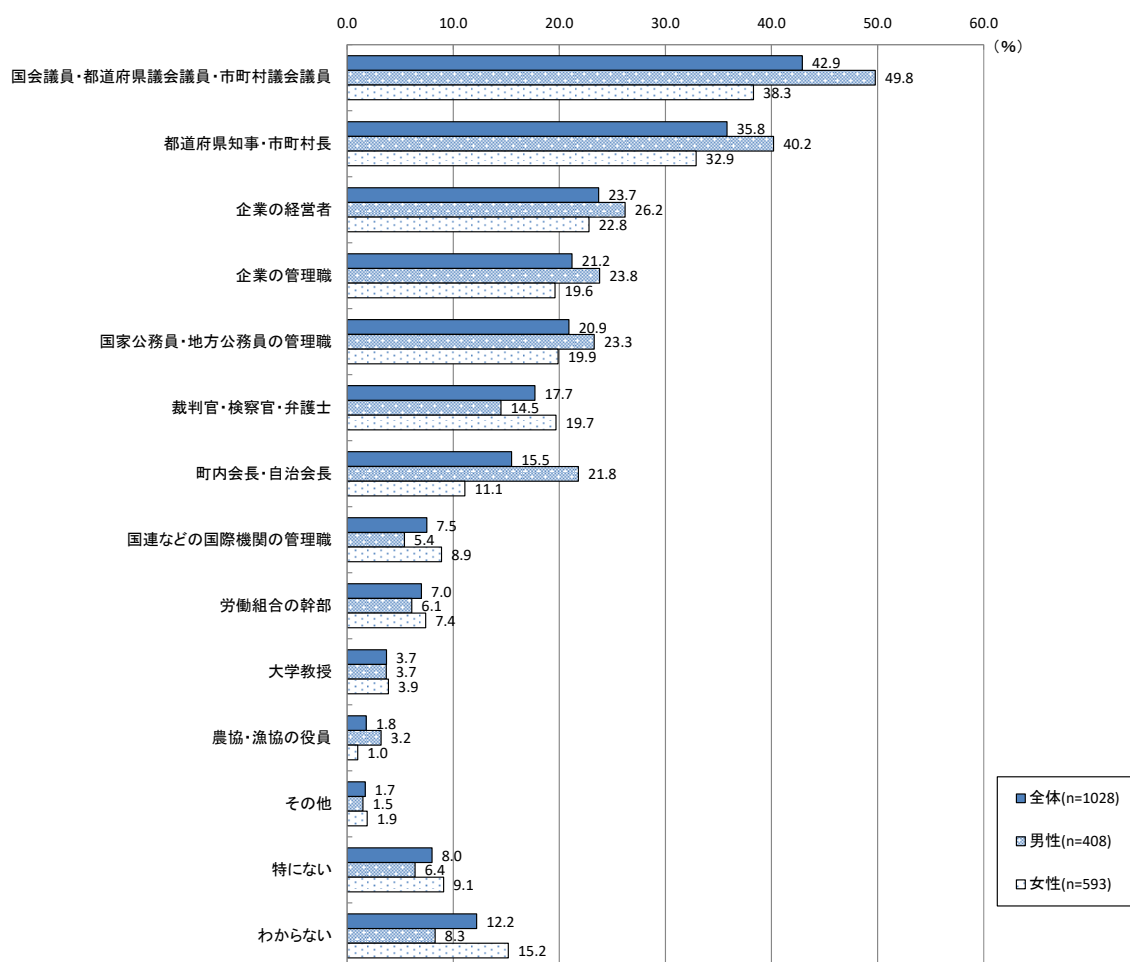


図 5-1 政策・方針決定への女性参画が望まれる役職

表5-1 政策・方針決定への女性参画が望まれる役職

標本数		都道府県知事・市町村長	国会議員・都道府県議会議員・市町村議会議員	国家公務員・地方公務員の管理職	裁判官・検察官・弁護士	大学教授	国連などの国際機関の管理職	企業の経営者	企業の管理職	労働組合の幹部	農協・漁協の役員	町内会長・自治会長	その他	特になし	わからない	無回答	
		人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	
全体	1028	35.8	42.9	20.9	17.7	3.7	7.5	23.7	21.2	7.0	1.8	15.5	1.7	8.0	12.2	3.8	
性別	男性	408	40.2	49.8	23.3	14.5	3.7	5.4	26.2	23.8	6.1	3.2	21.8	1.5	6.4	8.3	2.5
	女性	593	32.9	38.3	19.9	19.7	3.9	8.9	22.8	19.6	7.4	1.0	11.1	1.9	9.1	15.2	3.7

2. 企画や方針を検討するような場へ女性が参画するために必要なこと

問17 女性の社会進出は進みつつありますが、町内会や自治会の長、審議会委員や議員などには、まだ、女性が就くことが少ないのが現状です。今後、企画や方針を検討していくような場へ女性が参画していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

▶ 「男性優位の組織運営を改める」が最も多く 41.6%

企画・方針を検討するような場へ女性が参画するために必要なことについて尋ねたところ、「男性優位の組織運営を改める」が 41.6%と最も多く、次いで「家庭、職場、地域における性別による役割分担や性差別の意識を改める」が 37.3%、「家族の支援・協力が得られるようにする」が 33.2%となった。

性別にみると、男女いずれも「男性優位の組織運営を改める」(男性 41.9%、女性 41.7%)、「家庭、職場、地域における性別による役割分担や性差別の意識を改める」(男性 40.4%、女性 35.2%)、「家族の支援・協力が得られるようにする」(男性 34.6%、女性 31.4%)が上位3項目となった。また、「女性の参画を積極的に進めようとする人を増やす」は男性が女性を、「女性の活動を支援するネットワークをつくる」は女性が男性をやや上回っている。

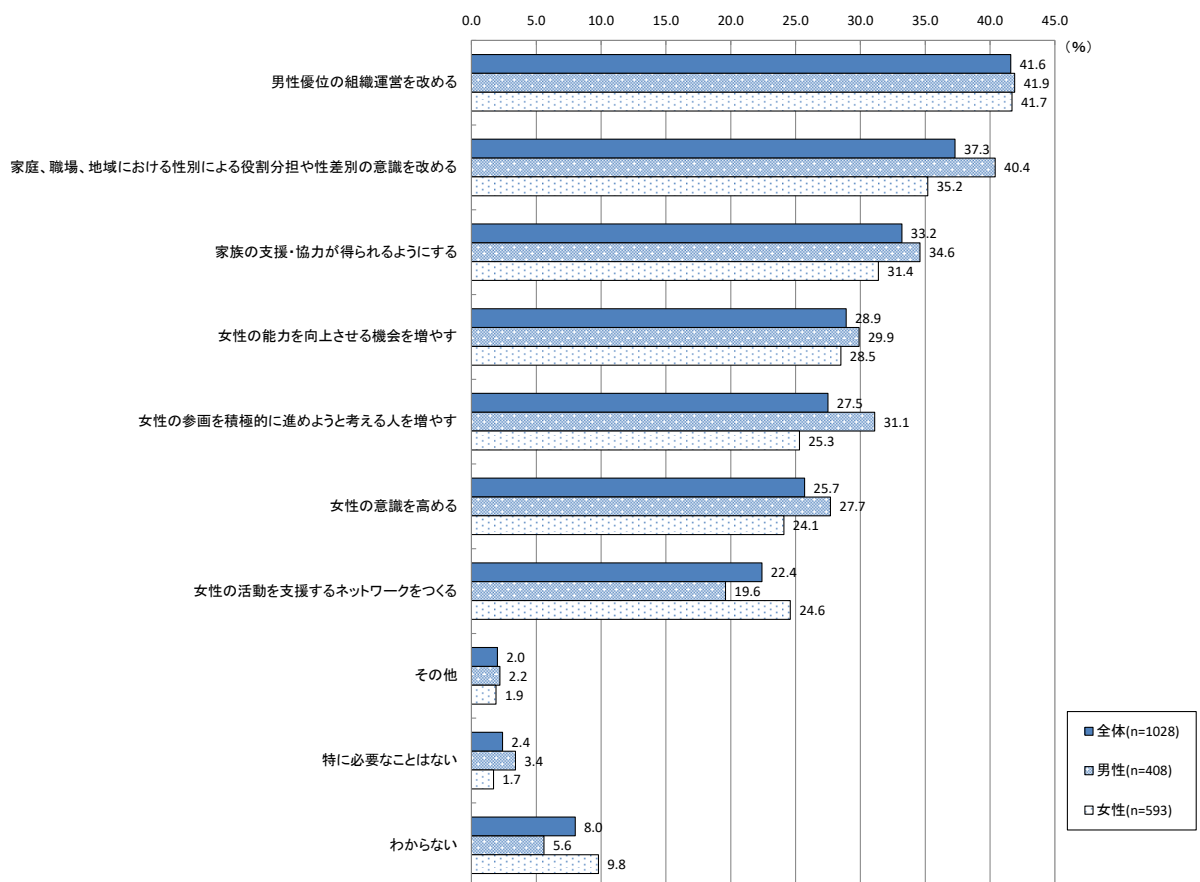


図 5-2 企画や方針を検討するような場へ女性が参画するために必要なこと

表5-2 企画や方針を検討するような場へ女性が参画するために必要なこと

標本数		家庭、職場、地域における性別による役割分担や性差別の意識を改める	男性優位の組織運営を改める	家族の支援・協力が得られるようにする	女性の能力を向上させる機会を増やす	女性の活動を支援するネットワークをつくる	女性の意識を高める	女性の参画を積極的に進めようとする人を増やす	その他	特に必要なことはない	わからない	無回答	
		%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	
全体	1028人	37.3	41.6	33.2	28.9	22.4	25.7	27.5	2.0	2.4	8.0	3.2	
性別	男性	408	40.4	41.9	34.6	29.9	19.6	27.7	31.1	2.2	3.4	5.6	2.5
	女性	593	35.2	41.7	31.4	28.5	24.6	24.1	25.3	1.9	1.7	9.8	3.2

3. 男女がともに社会のあらゆる分野にもっと参画していくための課題

問18 あなたは、男女がともに社会のあらゆる分野にもっと参画していくために、何が課題だと思いますか。(〇は3つまで)

▶ 「偏見、固定的な社会通念、慣習・しきたりの改善」が最も多く 66.3%

男女がともに社会のあらゆる分野にもっと参画していくための課題について尋ねたところ、「偏見、固定的な社会通念、慣習・しきたりの改善」が 66.3%と最も多く、次いで「女性の就業、社会参加を支援する施設やサービスの充実」が 40.6%、「女性の意識・能力の向上」が 36.1%、「男性の意識・能力の向上」が 30.3%であった。

性別にみると、男女ともに「偏見、固定的な社会通念、慣習・しきたりの改善」(男性 67.2%、女性 66.1%) が最も多かった。これに次いで男性では「女性の意識・能力の向上」が 38.2%、女性では「女性の就業、社会参加を支援する施設やサービスの充実」が 43.0%であった。「法律や制度の見直し」は男性が女性より高い比率を示している。

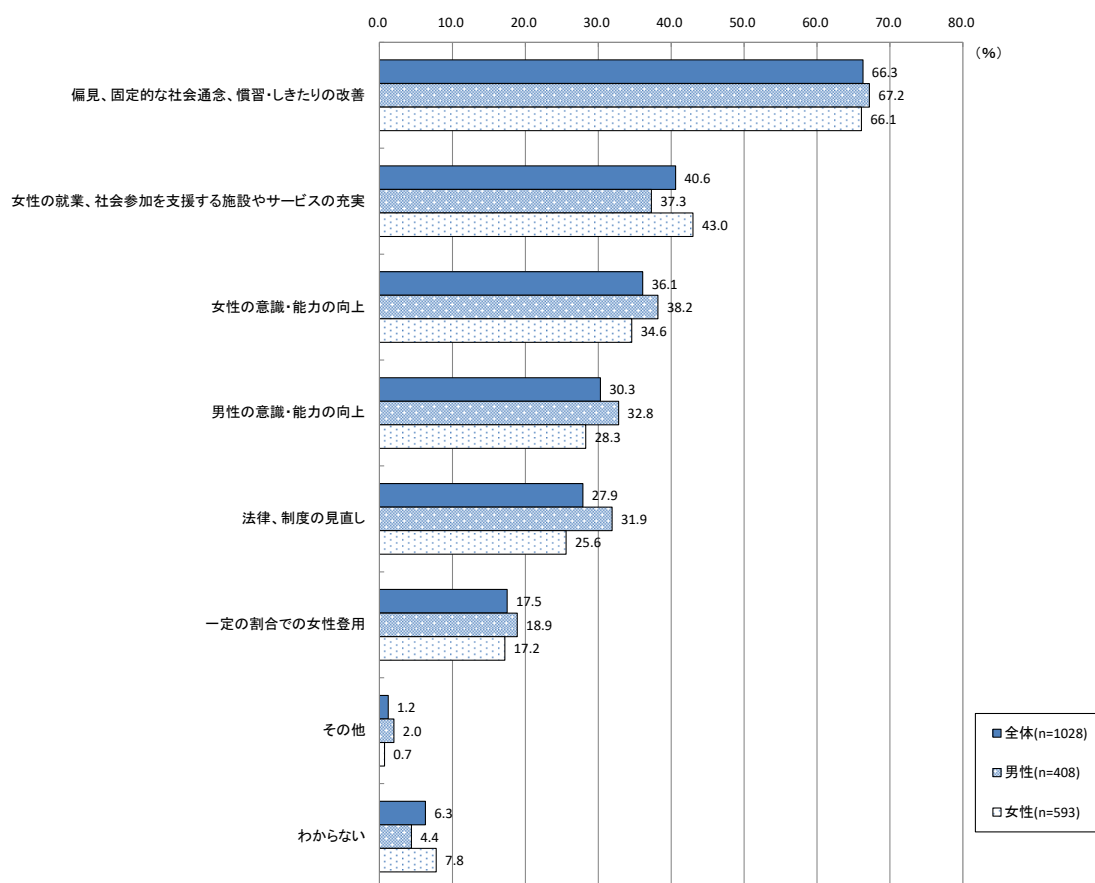


図 5-3 男女がともに社会のあらゆる分野にもっと参画していくための課題

表5-3 男女がともに社会のあらゆる分野にもっと参画していくための課題

標本数		法律、制度の見直し	偏見、固定した見方、固定的な社会通念、慣習の改善	男性の意識・能力の向上	女性の意識・能力の向上	女性の就業、社会参加を支援する施設やサービスの充実	一定の割合での女性登用	その他	わからない	無回答	
		%	%	%	%	%	%	%	%	%	
全体	人 1028	27.9	66.3	30.3	36.1	40.6	17.5	1.2	6.3	3.0	
性別	男性	408	31.9	67.2	32.8	38.2	37.3	18.9	2.0	4.4	2.7
	女性	593	25.6	66.1	28.3	34.6	43.0	17.2	0.7	7.8	2.7

4. 今後行政が力を入れていくべき施策

問19 「女性の活躍促進」「男女共同参画社会の実現」を目指して、今後、行政はどのような施策に力を入れていくべきと思いますか。(〇は3つまで)

▶ 「子育てや介護中でも仕事が続けられるよう、休業・休暇・短時間勤務などの制度を充実する」が最も多く 35.9%

「女性の活躍促進」「男女共同参画社会の実現」のために行政が力を入れるべき施策については、「子育てや介護中でも仕事が続けられるよう、休業・休暇・短時間勤務などの制度を充実する」が 35.9%と最も多く、次いで「長時間労働の見直しや在宅勤務の普及など男女ともに働き方を見直す」が 34.1%、「育児や介護のための施設やサービスを充実する」が 22.9%であった。

性別にみると、男女ともに「子育てや介護中でも仕事が続けられるよう、休業・休暇・短時間勤務などの制度を充実する」「長時間労働の見直しや在宅勤務の普及など男女ともに働き方を見直す」の上位 2 項目は 3 割を超えている。また、「子育てや介護中でも仕事が続けられるよう、休業・休暇・短時間勤務などの制度を充実する」は女性の比率が男性をやや上回っている（男性 33.1%、女性 38.3%）。一方、男性の比率が女性を上回っている主な項目としては、「国、地方公共団体の審議会委員や議員など、政策決定の場に女性を積極的に登用する」(男性 26.7%、女性 16.9%)、「法律や制度の面で見直しを行う」(男性 24.3%、女性 16.9%) が挙げられる。

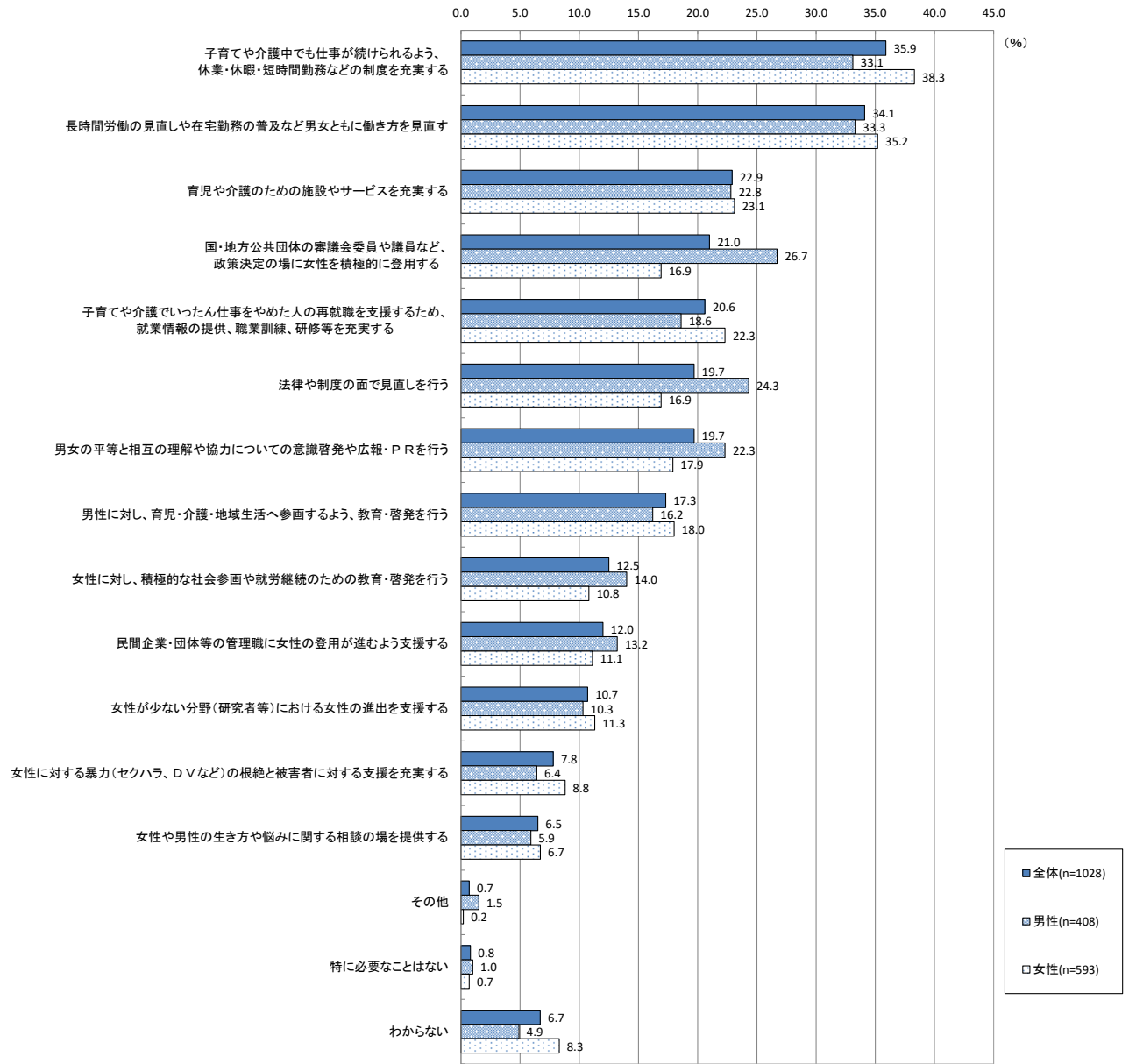


図 5-4 今後行政が力を入れていくべき施策

表5-4 今後行政が力を入れていくべき施策

性別	標本数	施策																
		法律や制度の面で見直しを行う	意識啓発や広報・PRを行う	男女の平等と相互の理解や協力についての	男性に対し、教育・啓発を行う	男性に対し、育児・介護・地域生活へ参画するよう、教育・啓発を行う	女性に対し、積極的な社会参画や就労継続のための教育・啓発を行う	民間企業・団体等の管理職に女性の登用が進むよう支援する	女性が少ない分野(研究者等)における女性の進出を支援する	女性に対する暴力(セクハラ、DVなど)の根絶と被害者に対する支援を充実する	女性や男性の生き方や悩みに関する相談の場を提供する	その他	特に必要なことはない	わからない	無回答			
全体	1028	19.7	19.7	17.3	12.5	21.0	12.0	10.7	6.5	34.1	22.9	35.9	20.6	7.8	0.7	0.8	6.7	3.8
男性	408	24.3	22.3	16.2	14.0	26.7	13.2	10.3	5.9	33.3	22.8	33.1	18.6	6.4	1.5	1.0	4.9	2.9
女性	593	16.9	17.9	18.0	10.8	16.9	11.1	11.3	6.7	35.2	23.1	38.3	22.3	8.8	0.2	0.7	8.3	3.7

5. 長崎県男女共同参画推進センターに望まれる重点的な事業

問20 長崎県男女共同参画推進センターでは、男女共同参画に関して、以下のような事業を実施しています。今後、センターがさらに力を入れていくべきと思う項目はどれですか。(〇は3つまで)

▶ 「男女共同参画に関する幅広い情報の収集・提供」が最も多く 40.4%

長崎県男女共同参画推進センターに望まれる重点的な事業については、「男女共同参画に関する幅広い情報の収集・提供」が40.4%と最も多く、次いで「各種団体や地域で活躍する女性リーダーの育成」が30.9%、「地域での啓発活動を行う人材の育成」が27.9%であった。

性別でみると、男女ともに「男女共同参画に関する幅広い情報の収集・提供」が最も多く、次いで「各種団体や地域で活躍する女性リーダーの育成」、「地域での啓発活動を担う人材の育成」の順となったが、いずれも男性の比率が女性を上回っている。

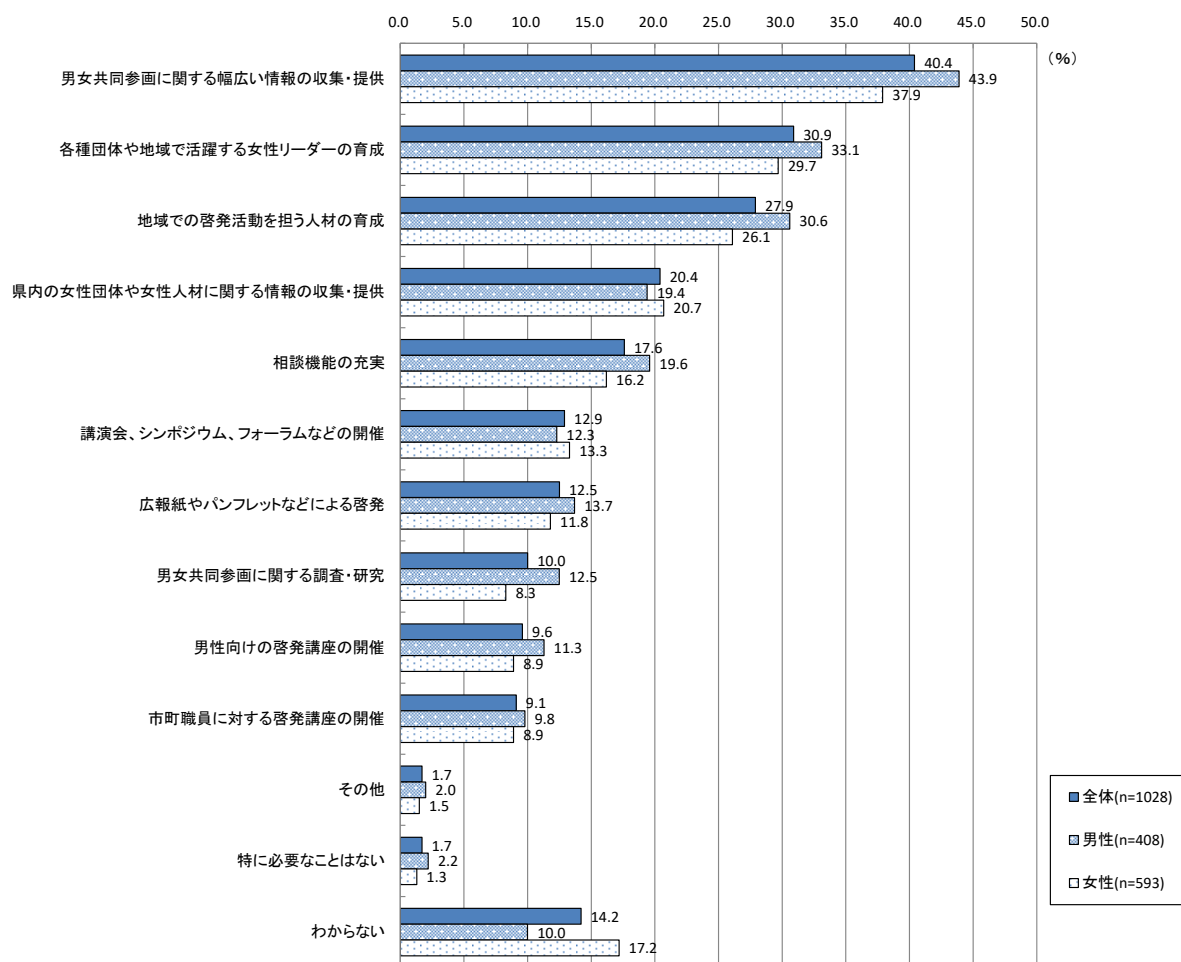


図 5-5 長崎県男女共同参画推進センターに望まれる重点的な事業

表5-5 長崎県男女共同参画推進センターに望まれる重点的な事業

標本数		男女共同参画に関する幅広い情報の収集・提供	県内の女性団体や女性人材に関する情報の収集・提供	発報紙やパンフレットなどによる啓	講演会、シンポジウム、フォーラムなどの開催	地域での啓発活動を担う人材の育成	男性向けの啓発講座の開催	各種団体や地域で活躍する女性リーダーの育成	市町職員に対する啓発講座の開催	相談機能の充実	男女共同参画に関する調査・研究	その他	特に必要なことはない	わからない	無回答
人		%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
全体	1028	40.4	20.4	12.5	12.9	27.9	9.6	30.9	9.1	17.6	10.0	1.7	1.7	14.2	4.7
性別															
男性	408	43.9	19.4	13.7	12.3	30.6	11.3	33.1	9.8	19.6	12.5	2.0	2.2	10.0	4.2
女性	593	37.9	20.7	11.8	13.3	26.1	8.9	29.7	8.9	16.2	8.3	1.5	1.3	17.2	4.6